

令和2年度 府立海洋高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（**計画段階**・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>家庭・地域社会及び関係機関との連携を図り、自ら課題を発見し解決する能力を備えた、未来を切り拓き地域創生に資する水産・海洋のスペシャリストを育成する。</p>	<p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全職員による一致した指導により生徒が規範意識を重んじ、自律的で調和のとれた高校生活を送っている。 2 実践的な教育活動により、全国の水産・海洋高校の学習・研究活動をリードしている。 3 進路について、就職では関連分野を中心に18年連続100%内定、進学では国公立大学（27年連続）をはじめ幅広い分野の大学・専門学校等に合格した。 4 生徒の多くが意欲的に資格取得に取り組み、レベルの高い資格を保持する生徒が増えている。 5 ほとんどの生徒が何らかの部活動に加入し、高校生活の充実に向けている。その中から、全国高校総体や国体等に出場する生徒を輩出している。 6 ボランティア活動への参加が日常的になり、地域創生に資するとともに生徒の自尊感情の醸成につながっている。 7 キャリアプランニング・サポート（小中高連携事業）並びにコラボ推進プログラムに京都府北部の児童・生徒が多数参加し、水産業や海洋産業への理解を深めた。 8 読書の定着と図書館活動の充実により、生徒が多様な価値観をもち、学習・研究活動の幅が広がっている。 <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主体的な生活の促進と公共心の育成 2 個に応じた指導の推進と指導状況の共有 3 家庭・下宿・寮における好ましい生活の支援 4 地域創生に資する人材育成 5 ICT利活用とスマートスクール推進事業指定に向けての準備 6 広報活動の充実と生徒募集の強化 	<p>本年度学校経営の重点（短期経営目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力向上と希望進路の実現 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習に関する基礎的環境整備と個に応じた指導に努める。 (2) 授業（実習）改善と海洋プロジェクトの充実により、進路の選択・決定における自己実現を促進する。 (3) 地域人材の活用に努め、地域創生に資する。 (4) 読書活動の時間確保を含め、机に向かう時間を大切にさせる。 2 基本的生活習慣の定着 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒指導の考え方を共有し、一貫した指導体制の確立を図るとともに、それぞれの課題に応じた指導を推進する。 (2) 日常の学校生活を通じて、適切に行動できる生徒を育てる。 3 心の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 系統的な人権教育により、生活の中に生かされる指導を行う。 (2) 日常的な声かけに努め、成長を確かめ合いながら自己有用感を育むとともに主体的な行動を促す。 4 さらなる高みを目指す専門教育の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関連産業や外部機関との連携を推進するとともに、先進的な取組に関心を持たせ、レベルの高い専門教育を目指す。 (2) 生徒それぞれの「あこがれ」を大切にし、想像力を育てる。 5 安心・安全の徹底 <ol style="list-style-type: none"> (1) 相互のちがいを認め合い、共に学ぶ仲間づくりを進める。 (2) 常に緊張感を持って実習に臨むとともに、点検・確認を怠らない。 (3) 生活全般において順法精神を培い、安全第一を徹底する。 6 広報活動の充実と家庭・地域との連携強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 専門学科の取組を中心とする積極的な広報に努め、本校の魅力をアピールする。 (2) 中学生の目線で本校に対する理解が深まり、共感が広がるような広報の在り方を研究する。 7 働き方改革の推進とワーク＆ライフバランスの調整 <p>教職員それぞれが仕事と生活について見直し、望ましい時間配分を考え、教師としての資質向上と生活改善に努める。</p>